

HI-Cube ジャーナル

INDEX

・入居企業紹介（㈱Quantec）.....	1	・トピックスⅢ.....	4
・入居企業紹介（S-Bridges㈱）.....	2	・新スタッフ就任のご挨拶.....	4
・トピックスⅠ.....	3		
・トピックスⅡ.....	3		

入居企業紹介（112号室）

株式会社 Quantec
 代表取締役：上瀧 英郎
 設立：2024年7月
 入居：2025年4月
 TEL：042-707-6464
 URL：https://quantec.jp/



大画面 3D レーザーマーカ PICTURA

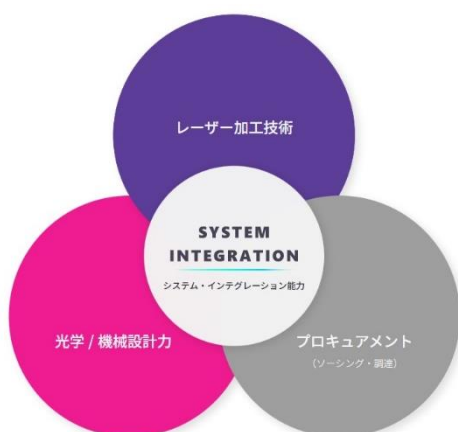
◆会社概要

当社は、プロセス起点のレーザー加工装置システムインテグレーターです。レーザー発振器と加工機の間にある「プロセスの谷」を埋め、光と物質の相互作用から最適な加工パラメータを導き出し、ものづくりにおける加工課題を解決します。



代表取締役 上瀧英郎氏

◆HI-Cube での活動内容、製品紹介



浜松ラボでは、お客様の加工課題の解決（PoC）と量産装置化を進めます。当社の強みであるレーザー光学技術と、地元浜松の自動機メーカー様の搬送・制御技術を掛け合わせ、共に世界へ展開する量産装置を作る「共創体制」の構築が目標です。

○レーザー加工技術

波長 / パルス幅 / 繰返し / エネルギー密度 / 走査条件を最適化。

○光学/機械設計力

光学・機械・メカ・ソフトを設計・組み立て。自動化・モジュール化等。

○プロキュアメント

ソーシング・調達能力。

◆HI-Cube に入居して

浜松は「光学×自動機×大学」が連携できる最高の土壌です。共に地域発の新しい産業モデルを創りましょう。112号室でお待ちしております。

入居企業紹介

S-Bridges 株式会社
代表取締役 長門 貴
設立：2022 年 2 月
入居：2022 年 8 月
URL：<https://www.s-bridges.com/>



◆会社概要

未利用の植物資源をすべて“使い切る”先進技術をベースとした「Use-It-All プラットフォーム」を提供します。これによりエネルギー問題や食料危機等のさまざまな社会課題を解決し、循環経済の実現を目指す Green Tech 企業です。



代表取締役 長門貴氏

◆主な事業の紹介

例えば静岡の名産品である茶葉は、飲料などで使用されているのは僅か 20%にとどまっていますが、当社の技術によって茶葉すべてを使い切ることが可能となります。茶葉から高タンパク質パウダー、液肥、繊維などに分離・抽出し、余すことなく価値化し、新たな事業創出に繋がります。

【企業との取り組み例】

- コスモエネルギーホールディングス様
繊維はバイオエタノールの原料となり、植物由来の再生可能燃料へと活用していきます。
エタノール製造プロセスの効率化が期待されています。

- サン・ラファエル様
浜松の老舗洋菓子店サン・ラファエル様に、茶葉由来の高タンパク質パウダーを使った焼き菓子を開発いただきました。この取り組みは、地域の未利用資源を価値として循環させる循環経済プラットフォームに参画いただくもので、浜松での循環モデルづくりを具体的に進めるものとなります。

全てを使い切る Use-It-All Technology

未利用植物資源から価値ある素材へ



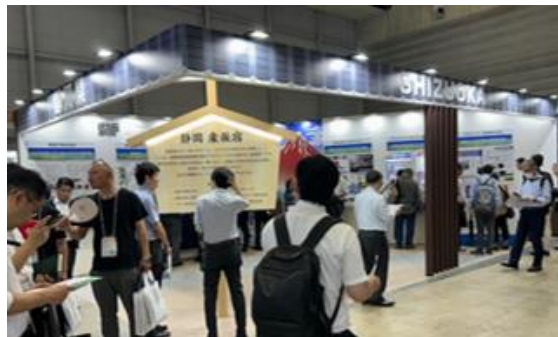
◆HI-Cube に入居して

まずは浜松での循環エコシステム構築に向け、地元企業の皆様と協業しながら実証を進めています。HI-Cube の志ある入居者の皆様と切磋琢磨しながら、この環境を最大限に活かし、地域から循環型産業の未来を広げていきたいと思ひます。

★トピックスⅠ

「人とするもののテクノロジー展 2026YOKOHAMA（パシフィコ横浜）」

（公社）自動車技術会が主催する展示会「人とするもののテクノロジー展」が5月27日から29日の3日間、パシフィコ横浜で開催され、27日（水）に視察しました。本展示会は今年で33回目を数え、昨年度は600社を超える出展企業と8万人近くの来場者が記録されています。出展ゾーンは、「自動車」「部品」「材料」「テスト」「ソフトウェア」「CAEソリューション」「カーエレクトロニクス」「R&D・出版・団体」の8分野で構成されていました。



静岡県産業振興財団ブース



アーティフィシャルヘッド

HI-Cube 入居関連企業（関連開発テーマ）・地元企業を優先しながら17社・団体を訪問しました。

入居企業様では、（株）エフ・シー・シー様、（株）椿本チエイン様の出展がありました。静岡県産業振興財団のブースで出展されていたロボセンサー技研（株）（三方原町）は、新規センサーの研究開発、センサー応用製品の開発を行っています。当日は、指先触感センサーを体験させていただきました。

ヘッドアコースティックジャパン（株）は、アーティフィシャルヘッドを使い、スピーカーやイヤホンなどの性能を定量的に評価・見える化ができていました。

★トピックスⅡ

「AXIA EXPO 2026」

AXIA EXPO 2026（主催：日刊工業新聞社等）が6月3日～5日、愛知県国際展示場にて開催され、最終日の5日に視察しました。参加企業団体数は271、参加人数は9,391名でした。展示は水素・アンモニアテクノロジー、GXイノベーション、アジアパビリオン、バッテリー・エネルギー、スマートファクトリー等に分類されていました。また、開催期間中に11のセミナーがあり、この内3つのセミナー（世界はエネルギーで動く：エミン・ユルマズ氏、ヤマハ発動機における水素エンジン開発：雪島涼氏、日本にもうひとつ太陽をつくらう：久保洋介氏）に参加しました。

所感として、カーボンニュートラル社会への対応は着実に進んでおり、第二ステージ、第三ステージへと進化しているものと感じました。またそこには、素材の有効活用や科学技術の進展など相互に関係し合う取り組みの効果がでていたと思いました。



★トピックスIII

「新事業進出・ものづくり商業サービス補助金、公募要領公開」

中小機構では、新しく始まる「新事業進出・ものづくり商業サービス補助金」の公募要領を公開しております。今回の補助金では「革新的新製品・サービス枠」「新事業進出枠」「グローバル枠」の3つの枠が設けられております。このうち「革新的新製品・サービス枠」では、顧客等に新たな価値を提供することを支援する内容となっております。自社の技術を活かして新製品・新サービスを開発している企業様におかれましては、補助金の活用を検討されることをお勧めいたします。

<https://shinjigyou-monodukuri.smrj.go.jp/>

●新インキュベーションマネージャー（IM）就任のご挨拶

○萩原 IM

2月から勤めております萩原利行と申します。出身は静岡県掛川市です。製薬メーカーにて安全性評価/研究、研究企画、品質保証等に携わってきました。退職/再雇用を経た後、バイオ医薬品会社にて品質システム構築も経験させていただきました。その後、技術士事務所を開設し現在に至っています。事務所業務を進める中で、色々な案件と出会い、様々な方との出会いがありました。その中で、スタートアップ事業の大切さ、中小企業が持ち得る技術力の高さを強く感じました。そして、斬新な着眼点に基づくスタートアップ事業には、世の中を変えていく力があると思いました。学生時代も含め、浜松とは深い縁があります。HI-Cubeを通して皆様方のお役に立ち、浜松そして日本の発展につながればこれほど嬉しいことはありません。微力ではありますが、誠実な姿勢を忘れずに対応してまいりますので、よろしくお願いいたします。



○鈴木 IM

4月から勤めております鈴木茂人と申します。出身は浜松市です。輸送機器メーカーに43年勤務し、研究開発、製品開発、品質保証、子会社監査役に携わってきました。企画・開発・製造・品証・サービスのそれぞれの行程はもとより、ものづくりを一通貫で進めることに幅広い知識と経験がありますので、さまざまな課題についてご相談やご支援ができると思います。また、現在は浜松工業会（静岡大学工学部・情報学部同窓会）の浜松支部長も務めています。大学への懸け橋を担うことができる場面もあろうかと思っています。微力ではありますが、皆様の新しい気づきや発想を得られるお手伝いできればと思っています。



編集後記

新しいIMが加わり、IM室の体制が変わっております。心機一転、皆さまのお役に立てるよう頑張っておりますので、引き続き、よろしくお願い申し上げます。

【編集者・発行人】
独立行政法人中小企業基盤整備機構 中部本部
浜松イノベーションキューブ(HI-Cube)IM室
〒432-8003 浜松市中央区和地山3-1-7
TEL:053(478)0141 FAX:053(473)7221
e-mail:hi-cube-info@smrj.go.jp

